

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 太陽の花		
○保護者評価実施期間	2025年12月 2日		2025年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年12月 1日		2025年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムについて、立案に関してチーム全員で関わり、またその内容が固定化しないような工夫をしている点は、事業所の強みだと思います。	活動プログラムが固定化しないよう、5領域を網羅できるように児童発達支援管理責任者が実施するプログラムを計画し、全職員がどのような内容で行うかを考える「活動プログラム計画会議」を毎月実施し、日々のミーティングでその内容の振り返りを行っています。継続して行う事が有効なプログラムについては、理由や頻度についても全職員で検討しています。	放課後等デイサービスガイドラインに記載された5領域について、児童発達支援管理責任者による研修等を行うことで職員全員がその内容を正確に理解し、適切なプログラムの立案ができるようになっていきます。また、今年度より年度末に1年間に実施したプログラムの内容を精査し、次年度に繋げていくための「プログラム総括会議」を実施することとし、より児童の課題に即したプログラムの立案に向けて取り組んでまいります。
2	相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関会議には児童発達支援管理責任者が主に参加することで、児童の課題や支援方法、生活環等を適切に共有できていることは、事業所の強みだと思います。また、保護者様からも適切に課題やニーズが個別支援計画書に反映されていると評価を頂いております。	相談支援員からの要請に対し、児童発達支援管理責任者が関係者会議等に出席しています。必要があれば、専門職(作業療法士等)の参加も調整しています。児童の生活や活動に際して問題が生じたときは、相談支援員等と情報を共有し、解決に向けた取り組みを随時行っています。学校からの相談があった際にも適切に相談支援員と情報共有できる体制を作っています。	引き続き、関係者会議等では適切な職員が参加できるように調整していきます。相談支援員からの要請だけでなく、児童やご家庭の課題に対して、事業所が主体となり新しいサービスに繋げていけるような取り組みを行ってまいります。送迎時など学校の担任等とも積極的にお話しをする機会を作ったことで、学校での課題などを即座に共有できる体制が作れており、次年度も継続して参ります。
3	業務継続計画(BCP)の策定及び各委員会が中心となり安全に関するマニュアルの策定ができていないこと、非常災害に備えた定期的な訓練ができていないことは事業所の強みだと思います。また保護者様からも児童の安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているとの評価を頂いております。	各委員会において、事故防止や感染症、災害非難マニュアル等が作成され、随時見直しを行っております。BCPについても年3回の委員会を通して改善を図っています。地震や火災などの災害を想定した避難訓練を毎月実施し、その内容を保護者様へは連絡帳や活動記録を通して、またSNSやHPにて発信しています。	毎月の避難訓練を通して、児童の安全のための対策を実施しています。今年度は日常生活に必要な安全意識の向上を目指した交通ルールに関するプログラムや外部講師による交通安全教室なども実施しました。今後も児童が安全に事業所を利用できる環境作りに努めて参ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流機会の提供、きょうだい向けのイベントの開催等、家族及びきょうだいへの支援の機会が少ないことが、保護者様向けアンケートにてご指摘を受けました。	今年度は保護者会を10月に実施し、保護者様同士の交流を図る機会を作りましたが、ご家庭の都合で参加が難しい方も多かったことが、ご指摘の要因と感じています。また同月に運動会を実施し、ご家族やごきょうだいも参加できる競技等を取り入れておりますが、より主体的に参加できるような工夫が必要だったと感じております。	保護者会に於いて、保護者様が同じ悩みを共有されるなど交流を図る機会となりました。次年度は開催回数を増やすなど、多くの保護者様が参加できるよう改善していきたいと思っております。また休日開所等によりご家族やごきょうだいの気軽に参加できるイベントを計画し、交流機会を増やしていく工夫をしてまいります。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ないことが、保護者様向けアンケートにてご指摘を受けました。また地域に開かれた事業所運営ができていない点について職員より意見があがりました。	社会福祉協議会等に放課後児童クラブ等との交流について相談しましたが、「多忙で手が回らない」とお断りを受けてしまうことがありました。近隣の子ども達との交流が児童の成長に寄与していくことを発信できていないことを痛感しております。また災害時の訓練等を通して、近隣の方々との連携の必要性を感じる場面もありました。放課後等デイサービス事業所が担う役割について、情報発信ができていないことが要因だと感じています。	まずは太陽の花が主体となり、地域の方々や放課後児童クラブ等との関係づくりをすすめていくことが改善に必要な点と感じております。今年度は3月に同じ地域にある児童クラブの子ども達を招いて「ポッチャ大会」を開催する計画を立てております。また地域の自治会と繋がることで、地域に開かれた事業所となることを目指しております。自治会主催のお祭り等にも積極的に参加できるよう協力体制を作っていく予定です。
3	事業所の設備等についてバリアフリー化、また子どもにわかりやすく構造化された環境作りについて、保護者様向けアンケートにてご指摘を受けました。また職員からも課題であるとの意見があがりました。	玄関に段差があるため、車いす等の利用が難しい環境になっています。また活動スケジュール等の掲示について、構造化されていないため、児童がわかりにくい状況があると感じています。	ご指摘を受け、玄関の段差には今後スロープ等を設置する、またトイレ等に手すりを設置することを検討しております。児童にむけた掲示物については、よりわかりやすくイラスト等を使用する、掲示場所を児童の目線に合わせる等の工夫をしていきます。事業所内の改善については児童からの意見も参考に進めて参ります。